

# 秋冬限定、橋にくっきり浮かぶ「ハート」の光

2015年10月19日 09時03分



「二俣渡」の下に現れるハート形の光



石橋の近くに町が設置したモニュメント

秋の柔らかな日差しが石橋に降り注ぐ。

みなも

水面に映る光のショーに、観光客が歓声を上げた。熊本県美里町の釈迦院川と津留川の合流地点近くにかかると、ふたまたわたし「二俣渡」は、「恋人の聖地」とされる人気スポット。この時期、石橋の影でハート形の光が浮かび上がる。

石橋の下にハート形が現れるのは10月～翌年2月、晴れた日の午前11時半～正午頃だけだ。約40分間も堪能した熊本市西区の女性（53）は「ぜひ見たかったです」と声を弾ませた。

釈迦院川に架かる二俣渡は、江戸時代の1829年（文政12年）に建造された。翌年、津留川にふたまたふくらわたし「二俣福良渡」が建造され、石橋が隣り合っているのも特徴だ。2010年頃、町民がハート形に気づき、町に「面白いので何とかPRできないか」と提案したという。

町などが働きかけ、NPO法人「地域活性化支援センター」（静岡市）が11年6月、デートやプロポーズの場所にふさわしい「恋人の聖地」に認定した。町は12年3月、橋のたもとにハート形のモニュメントを設置。観光バスも立ち寄る人気スポットになった。

町林務観光課の西川葉志子さん（42）は「石橋のある場所は二またの川が出合う所で、縁起もいい。今後は地域住民や商工会と連携して、観光客をもてなすイベントなどを長期的に開催していきたい」と意気込む。

町によると、ハート形が最もくっきりと見えるのは11月10日頃。この時期は、橋近くのイチョウの葉も鮮やかな黄色に染まるという。